

# 消化器内科

## ■一般目標 GIO

- ・ 内科研修の一環として腹部症状を訴える患者の全ての臨床的な問題に対応できる。
- ・ 基本的な消化器疾患の診断と治療について理解し、他科との連携の上、初期診療を適切に行なうことができる。

## ■行動目標 SBO

- ① 指導医の監督のもとで急性期疾患に対する適切な問診、身体観察を行ない、必要な指示を行うことができる。
- ② 診断に必要な適切な基本的検査(採血、腹部 X 線)を行ない、検査結果の解釈ができる。
- ③ 腹部超音波検査を自ら実施し、その解釈ができる。
- ④ 腹部 CT、MRI 画像の読影を行なうことができる。
- ⑤ 各疾患の診断と治療について指導医と十分な討議の上、診療計画を立て適切な治療を選択、実施できる。
- ⑥ 消化器内科で実施されている専門的検査、治療を理解し、指導医の監督・指導のもとに参画することができる。
- ⑦ チーム医療の重要性を理解し、看護師、コメディカルと協議の上、入院中ならびに退院後の適切な療養計画を立てることができる。
- ⑧ 患者中心の全人的医療を実践し、患者・家族との良好な人間関係を構築できる。

## ■学習方略 Learning strategy

LS1: On the Job Training (SBO①～⑧)

- ・ 数名の入院患者を受け持ち、指導医の監督・指導のもとで、その診断と治療を行なう。
- ・ 当直の時以外でも、消化器救急に遭遇した際には積極的にその診療に参加する。

LS2: Presentation (SBO①～⑧)

- ・ センター長回診、画像カンファレンス、術前カンファレンスにおいて受け持ち患者のプレゼンテーションを行い、患者の理解を深める。

LS3: 研修医報告会、学会

- ・ 院内報告会や院外の研究会、学会において発表を行なう。

LS4: 勉強会、抄読会への参加

- ・ 研修医のための院内勉強会や外科との合同抄読会(必ず1回発表)の他、院外の勉強会にも指導医とともに積極的に参加する。
- ・ 隔週で行われる画像診断カンファレンス(放射線診断医が指導)や毎年1回7月に行われる腹部超音波講演会(臨床検査技師が指導)に参加する。

## ■評価 Evaluation

- ① 回診や各種カンファレンスでの指導医との質疑により患者の病態把握と基本的知識について評価する。
- ② 消化器内科研修の終了の際に、研修責任者との面談を行ない、フィードバックを行う。
- ③ 総括的評価、コメディカルによる評価は、EPOC 及び病院全体で行い研修管理委員会から各研修医にフィードバックされる。

## ■週間スケジュール

毎日朝8時30分 内視鏡医師室にて全員で内視鏡フィルムカンファレンス

月 午前 上部内視鏡検査、外科との合同抄読会(月1回)

午後 下部内視鏡検査、病棟

火 午前 上部内視鏡検査、腹水濾過濃縮再静注

午後 下部内視鏡検査、病棟

水 午前 上部内視鏡検査

午後 胆膵内視鏡検査、病棟

木 午前 上部内視鏡検査

午後 入院患者ミーティング、病棟

金 午前 術前カンファレンス

午後 画像カンファレンス、病棟